

●この説明書は必ず施工される方にお渡しください。なお施工後は施主様にお渡しください。

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の障害、軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**▲注意**

- キャビネットが転倒してけがをするおそれがありますので、下記事項を厳守してください。
  - ・指定の位置に、厚さ24mm×60mm以上の硬木の棧木を設置してください。
  - ・棧木には、虫食い・くされ等のない物を使用してください。
  - ・棧木は必ず柱・間柱に釘等で固定してください。
  - ・ベタ張りの場合は、厚さ18mm以上の合板を使用してください。（厚さ12mmの合板では吊下げ強度が足りません。）
  - ・必ず指定の躯体取付けねじφ3.8×65（黒）を指定の本数使用してください。
  - ・必ず棧木の中央又は厚さ18mm以上の合板に固定してください。
  - ・躯体への固定後、キャビネットをゆすってガタツキのないことを確認してください。
- 扉の吊込みの際は、扉の丁番カップをキャビネットの丁番ベースプレートに「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。扉の脱落の原因になります。
- 棚板取付けの際は、「カチッ」と音がするまで棚板の手前を押下げ、本体に固定されていることを確認してください。棚板の脱落の原因になります。
- リフォーム等の場合で棧木位置が石こうボードなどで確認できない場合は、石こうボードをはがして棧木位置を確認してください。棧木がない場合は、柱・間柱に釘などで棧木を取付けてください。
- アルミ扉の場合、丁番固定ねじの締め忘れや緩みなどは扉脱落防止の原因になります。丁番の止めねじが必ず締まっていることを確認してください。

■施工上のおお願い

- 壁内（躯体）に固定する際は、水準器下げ振りなどで水平・垂直を調整してください。キャビネットのねじれにより、本体の開閉に支障がでるおそれがあります。
- 養生シートをかぶせる場合は、粘着テープ等を化粧面に張らないでください。はがす際に、化粧シートが損傷するおそれがあります。
- プラスドライバーの先はNo.2のものを使用してください。ねじ頭をつぶすおそれがあります。
- 本製品のねじ締め付け時には、クラッチ付きのドライバーを使用してください。締め付けトルクが強すぎると、ねじが空転したりねじ頭がとんだりつぶれたりする場合があります。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。部品・部材の脱落や垂下がり・ゆがみなどの原因となります。
- 発熱燈付近には取付けしないでください。熱により、部品が変形するおそれがあります。

■部材部品一覧表

●キャビネット梱包

名称	キャビネット 連結ねじ φ3.5×27 (黒)	躯体取付け ねじφ3.8 ×65(黒)	アーチ型把手 セット(把手 トラス小ね じM4×25)	接着剤	丁番座	丁番カップ
形状						
数量	10	3	2	1	6	6

●扉梱包

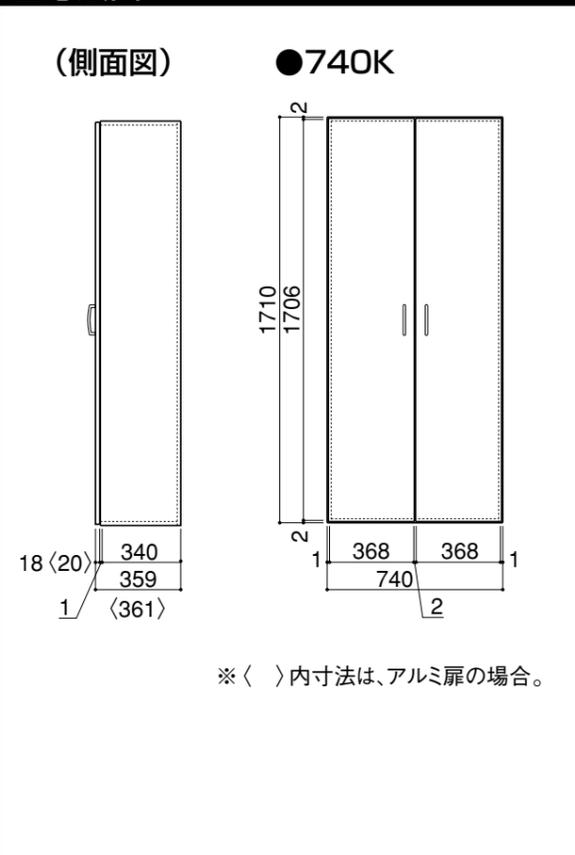
(アルミ扉の場合のみ)

名称	丁番セット (丁番/皿小ねじ M3.5×12)
形状	
数量	6

●回転式本体梱包

名称	回転式 本体	スライド レール	アーム 取付けねじ M5×10 スプリング ワッシャー 平ワッシャー	ハンドル	ハンドル取 付けねじ M5×25 平ワッシャー ナット	棚板	棚板 サイドカバー	落下 防止バー
形状								
数量	1	1	各2	1	各2	15	R/L各15	15

■寸法図



## ■据付け前の準備

### 1 1 棧木の設置位置確認

- 設置位置と上がり框の位置及び収納セットの左右勝手を確認します。

#### ▲注意

- 指定の位置に、厚さ24mm×60mm以上の硬木の棧木を設置してください。
- 棧木には、虫食い・くされなどのない物を使用してください。
- リフォームなどの場合で棧木位置が石こうボード等で確認できない場合は、石こうボードなどをはがして棧木位置を確認してください。棧木がない場合は、柱・間柱に釘などで棧木を取付けてください。

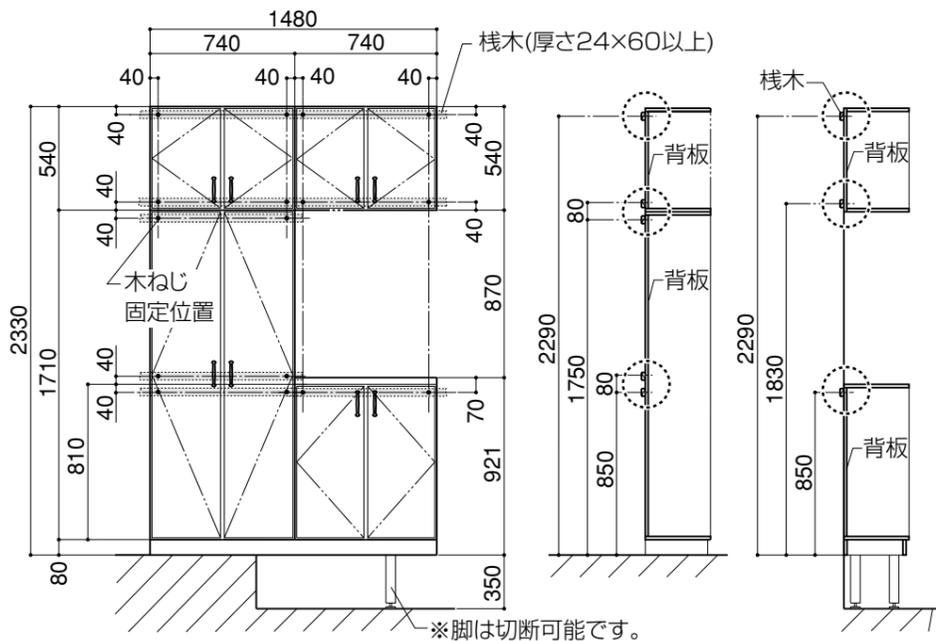
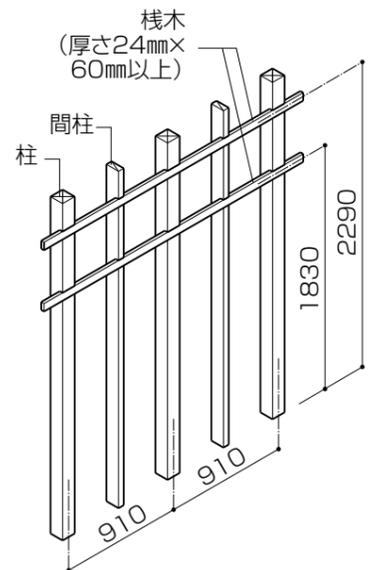
### 2 2 棧木の固定

- 棧木を取付けます。

#### ▲注意

- 棧木は必ず柱・間柱に釘等で固定してください。

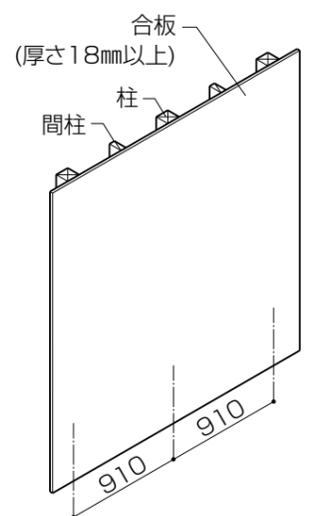
※棧木の高さについては、**1 1 棧木の設置位置確認**をご参照ください。



### 【ベタ張りにする場合】

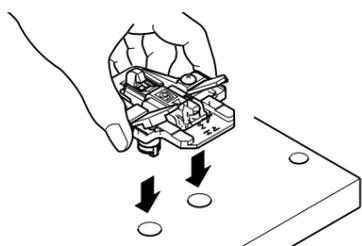
#### ▲注意

- ベタ張りの場合は、厚さ18mm以上の合板を使用してください。(厚さ12mmの合板では吊下げ強度が足りません。)

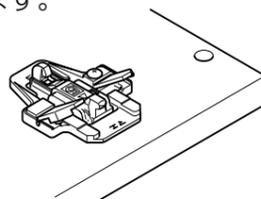


## ■組立て順序

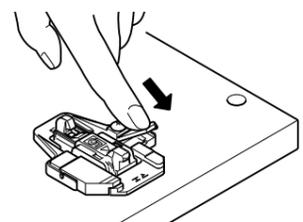
### 1. 1 丁番座の取付け



丁番座を側板（中仕切）の加工穴に差込みます。



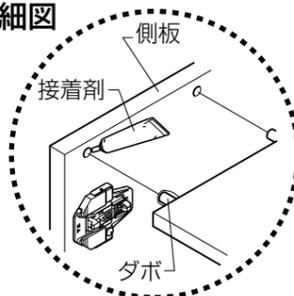
黒レバーをおろして丁番座を固定します。



### 2. 2 側板・天地板の組立て

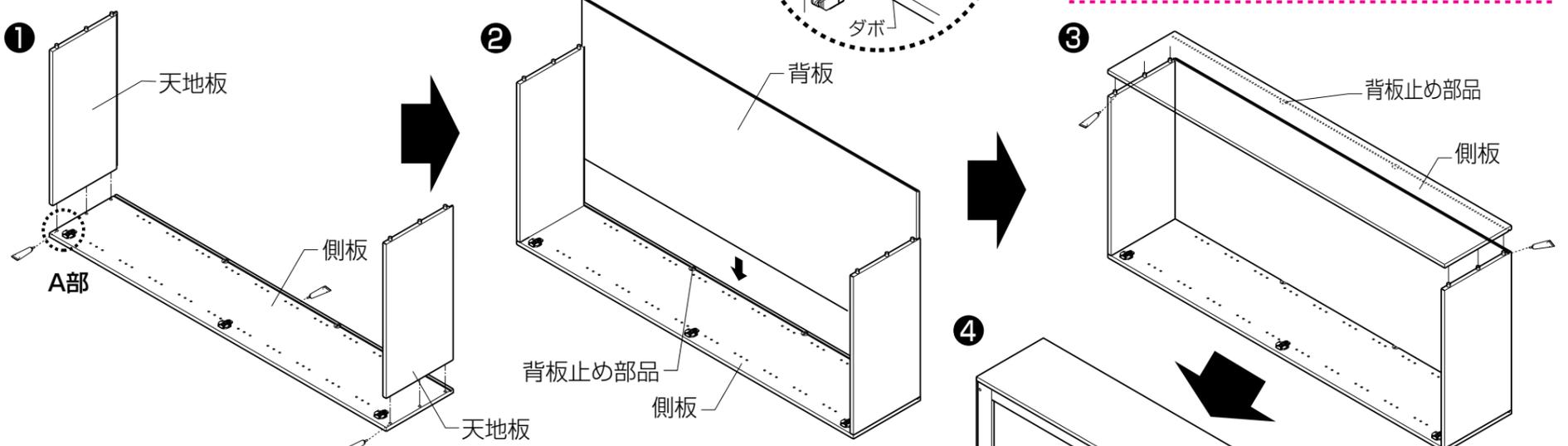
- ①天地板・地板を片側の側板にはめ込みます。
- ②背板を側板の溝に差込み、背板止め金具を締めます。
- ③もう一方の側板を差込みます。
- ④キャビネットの垂直を確認した後、残りの背板止め金具を締めます。
- ⑤皿木ねじφ3.5×30（黒）で背板を天地板に固定します。

#### ■A部詳細図



#### ▲注意

- 接合部には必ず接着剤を充てんしてください。キャビネットの強度が不足、キャビネット部材の落下及び中に入っている物の落下の原因となります。



#### ■背板止め金具の締め方

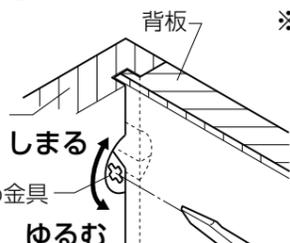
※マイナスドライバーで、右回りに締め付けます。

側板又は天板・地板

しめる

ゆるむ

背板止め金具



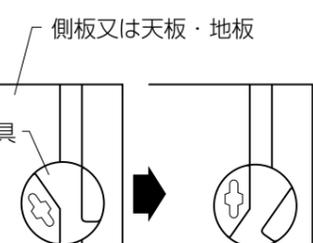
#### 【組立て前】 【組立て時】

※この状態で背板を組込んでください。

側板又は天板・地板

背板止め金具

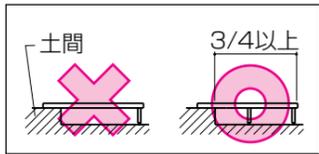
ゆるむ



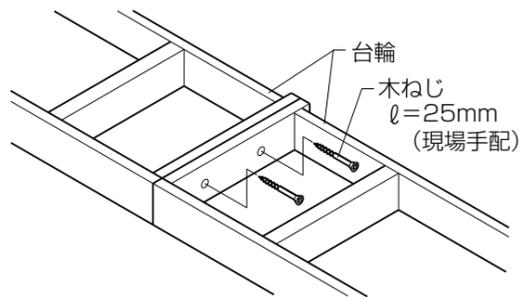
## ■取付け手順

### 1 台輪の設置

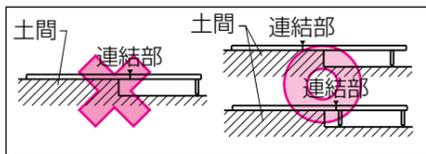
- 据付け場所に台輪を置きます。
- ※台輪を土間に直置きする場合は、水切りのため、アジャスターで10mm以上浮かせてください。
- ※1335以上の台輪を使用し、土間に2/3以上かかる場合は、追加脚セット(2本入り)(別売品)を使用し、足を4本設置してください。



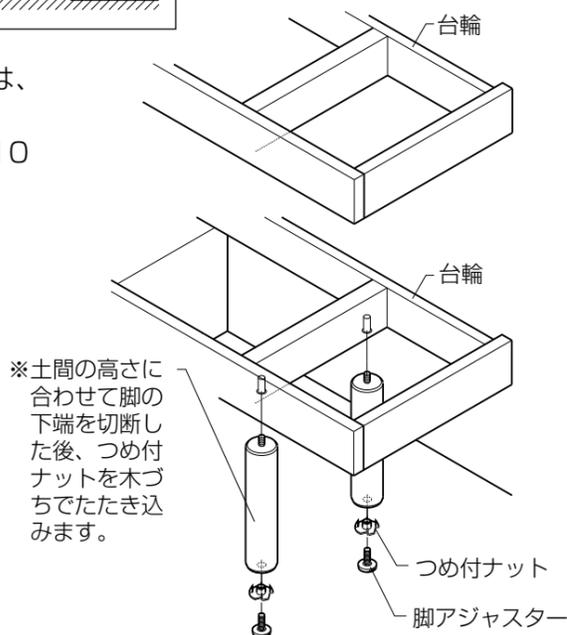
※台輪を2台以上並べる場合は、木ねじ( $\ell = 25\text{mm}$ )で連結してください。



※連結部は、土間にかからないようにしてください。やむを得ない場合は、脚を4本使用し、市販のボルト・ナットでしっかりと台輪を連結してください。



- ※台輪の脚の切断可能範囲は、最大100mmです。
- ※アジャスターの調整範囲は10mm~25mmです。

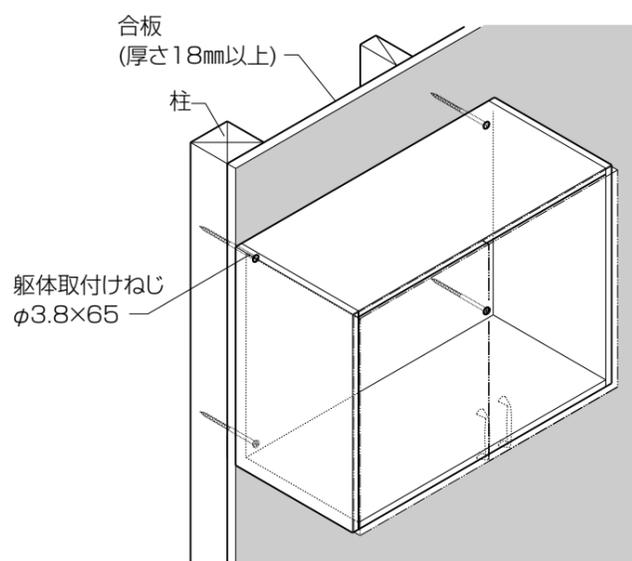
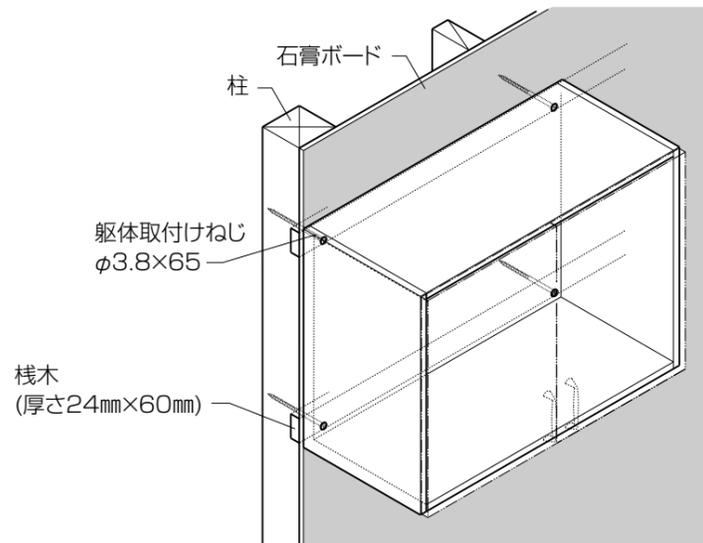


### 2 壁面への固定

- 水準器・下げ振りりでキャビネットの水平・垂直を調整しながら固定します。

#### ▲注意

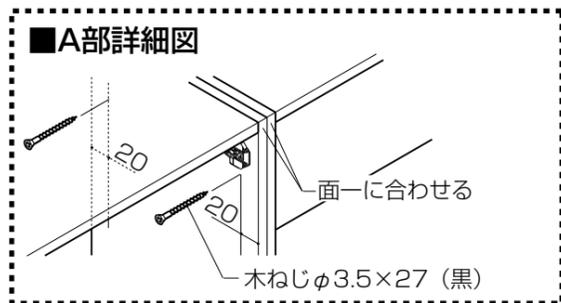
- 必ず指定の躯体取付けねじ $\phi 3.8 \times 65$ (黒)を指定の本数使用してください。
- 躯体への固定後、キャビネットをゆすってガタつきのないことを確認してください。
- 必ず桟木の中央又は厚さ18mm以上の合板に固定してください。



### 3 台輪への固定

#### 【キャビネット+キャビネット左右連結】

- キャビネットの側板前面を面一に合わせ、付属の木ねじ $\phi 3.5 \times 27$ (黒)で止めます。(A部詳細図)

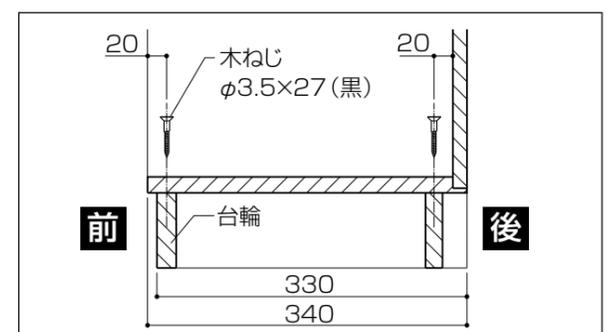
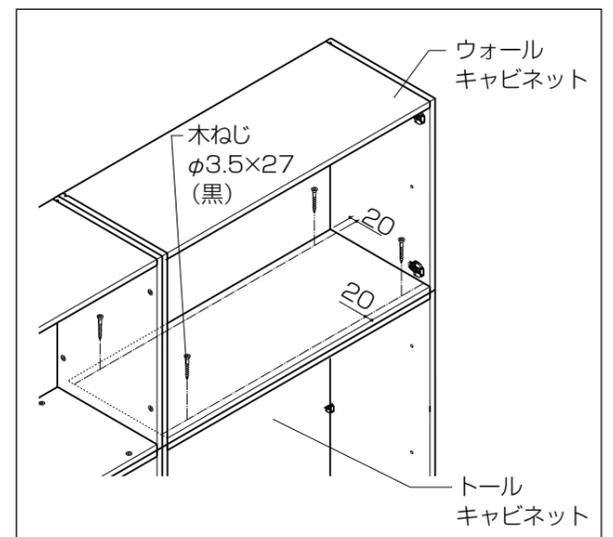
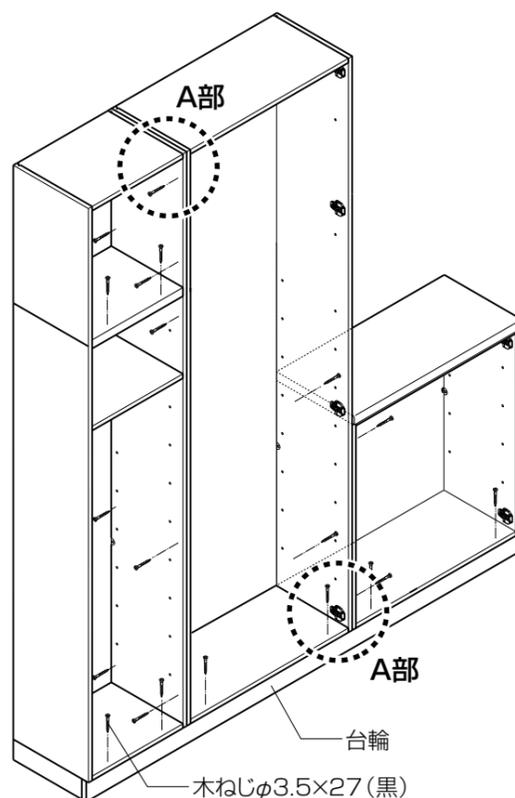


#### 【台輪+各キャビネット】

- キャビネットの内側から台輪に木ねじ $\phi 3.5 \times 27$ (黒)で連結します。
- ※キャビネットの背面を壁面に合わせ、左右のチリを均等にしてください。

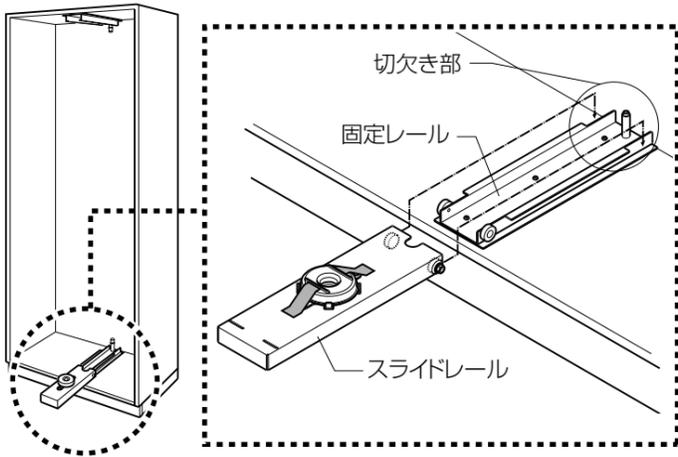
#### 【ウォールキャビネット+トールキャビネット】

- ウォールキャビネットの地板からトールキャビネットの天板へ(上から下へ)木ねじ $\phi 3.5 \times 27$ (黒)で連結します。

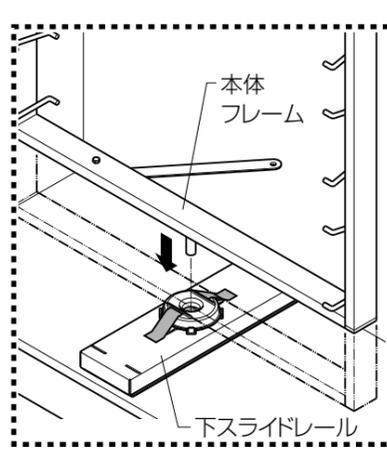


#### 4 回転式ユニットの取付け

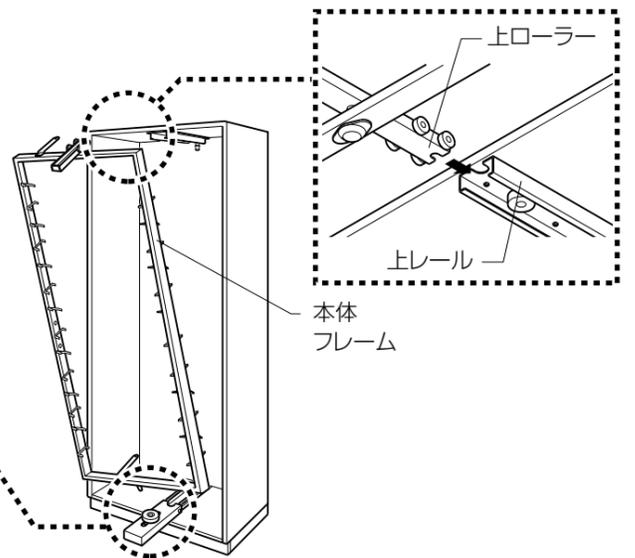
- ①固定レールの奥の切欠き部からスライドレールを入れます。  
②スライドレールを動かし、固定レールにスライドレールが入っていることを確認します。



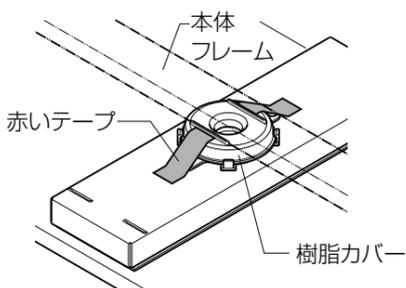
- ③下スライドレールの白い樹脂カバーの溝に、本体フレームの向きを合わせて入れます。



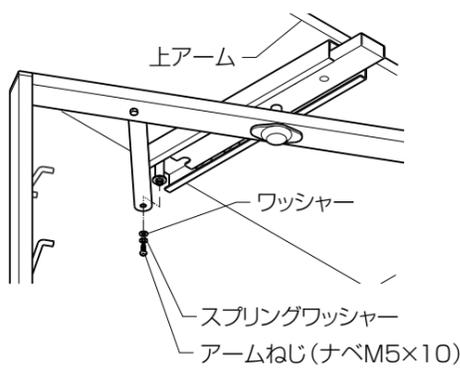
- ④上ローラーを上レールにはめ込みます。



- ⑤溝に入っていることを確認し、赤いテープをはがします。

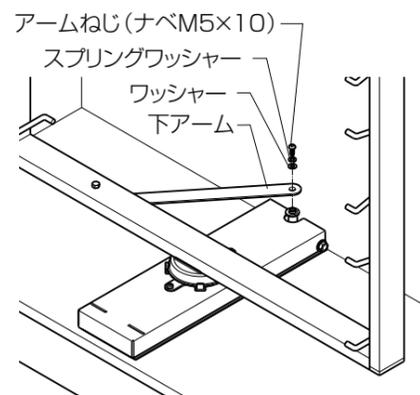


- ⑥上アームを固定します。

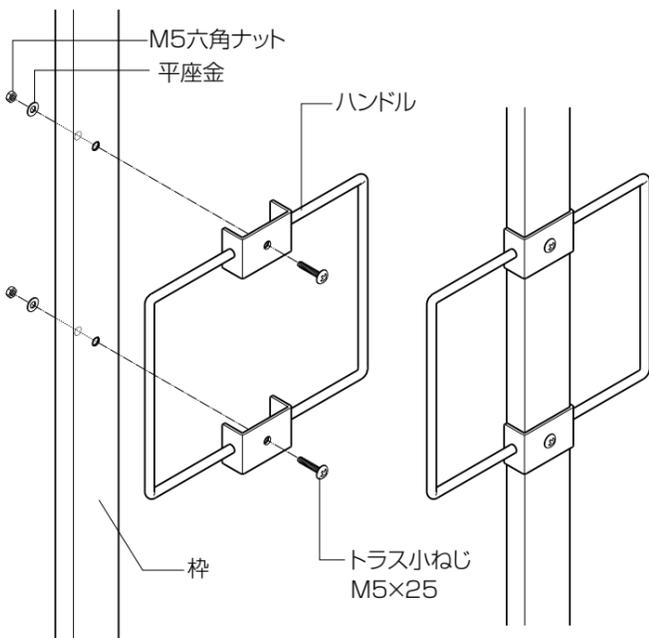


- ⑦下アームを固定します。

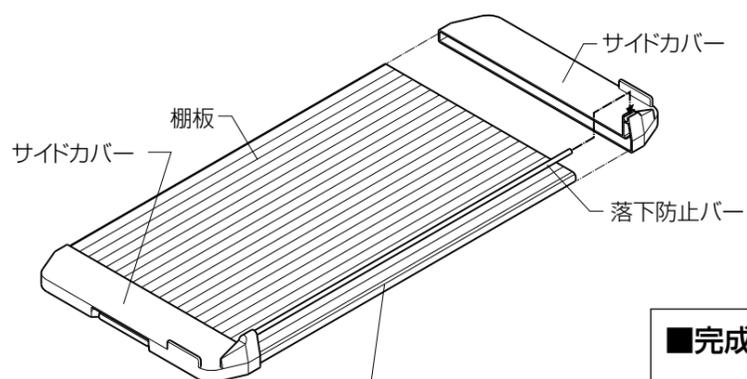
- ⑧アームねじが固定され、溝に本体フレームが入っていることを本体をゆずって確認します。



- ⑨枠の穴に合わせて、ハンドルを取付けます。

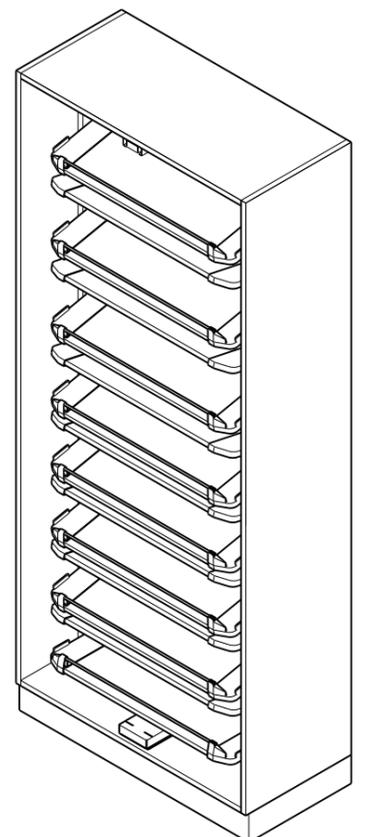


- ⑩棚板に左右のサイドカバーと落下防止バーを差込みます。

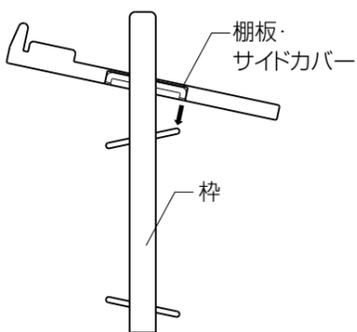


※端部が丸くなっている方を落下防止バー側にして差込んでください。

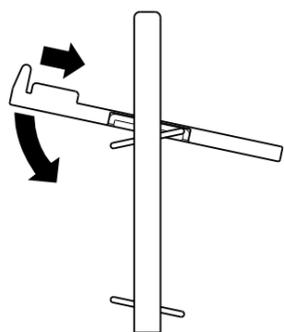
#### ■完成図



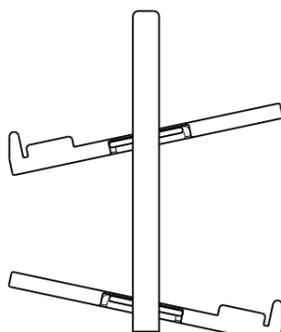
- ⑪棚板を枠の中に入れ、サイドカバーの奥の穴を金具の奥の方に上からはめ込みます。



- ⑫棚板を奥に押しながら手前を押下げます。



※外す場合は、逆の要領で行ってください。



#### ▲注意

- 「カチッ」と音がするまで棚板の手前を押下げ、本体に固定されていることを確認してください。

## 5 扉の取付け

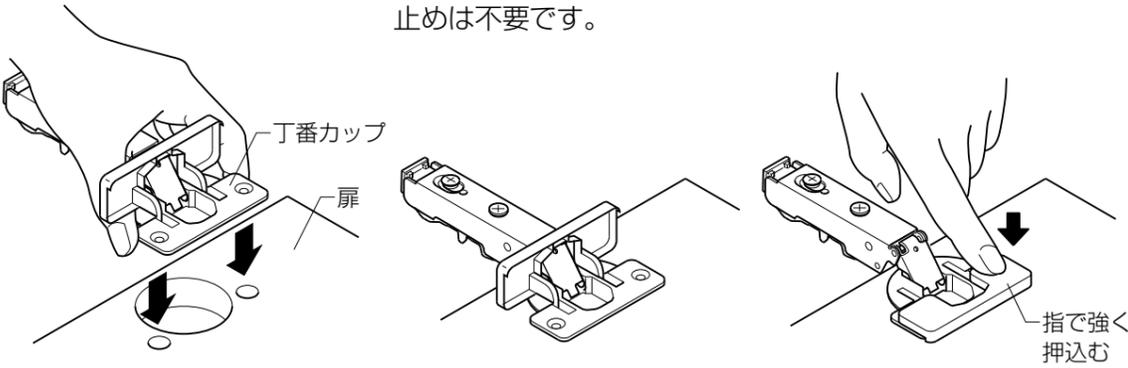
### 【木扉の場合】

#### ① 丁番カップの取付け

丁番カップのカバーを90°に開いて、本体の丁番カップ取付け穴に丁番カップを差込んでください。

※ワンタッチ式ですので、ねじ止めは不要です。

扉と丁番カップにすき間がないことを確認したら「パチッ」というまでカバーを強く押込んでください。

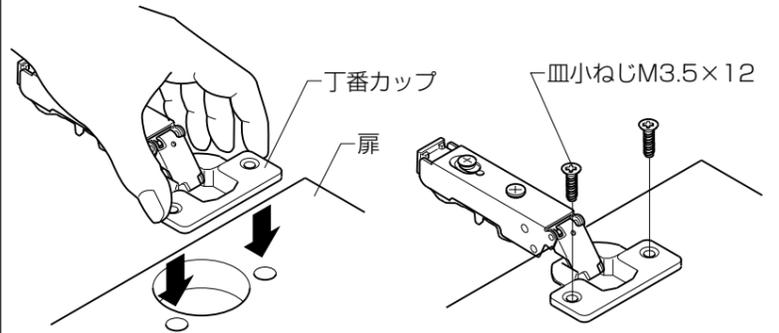


### 【アルミ扉の場合】

● 丁番カップを扉に差込み、皿小ねじM3.5×12で取付けます。

#### ▲ 注意

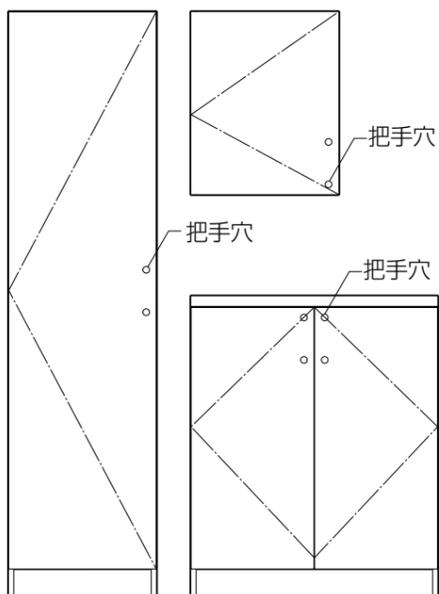
● 丁番固定ねじの締め忘れや緩みなどは扉脱落防止の原因になります。丁番の止めねじが必ず締まっていることを確認してください。



#### ② 扉の左右勝手の確認

● ウォールキャビネットは把手穴が下、ベースキャビネットは把手穴が上になります。

● トールキャビネットは扉のセンターに把手穴があります。



#### ③ 把手取付け穴加工

※ 445ウォール扉は現場での把手取付け穴加工が必要です。(アルミ扉の場合は、把手取付け穴加工は不要です。)

※ 把手取付け穴加工を開ける時は、必ず当て木を使用してください。

#### お願い

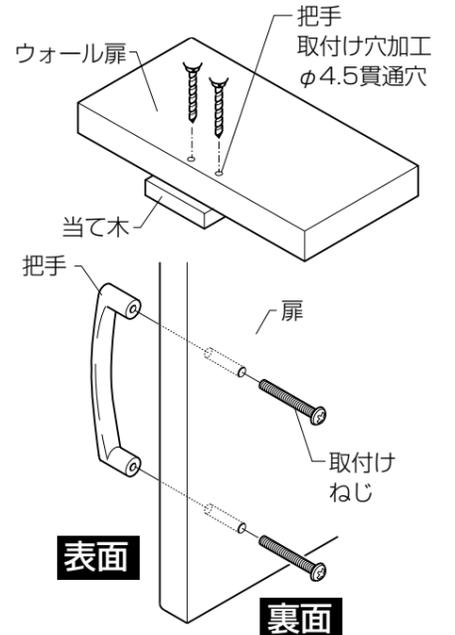
※ 当て木をしなくて穴を開けると、シートがめくれる原因となります。

#### ④ 把手の取付け

※ 把手セットはキャビネットに同梱されています。

#### ▲ 注意

● アルミ扉の場合、把手取付けねじは手まわしドライバーで固定してください。強いトルクで締め付けると、扉のへこみの原因となります。

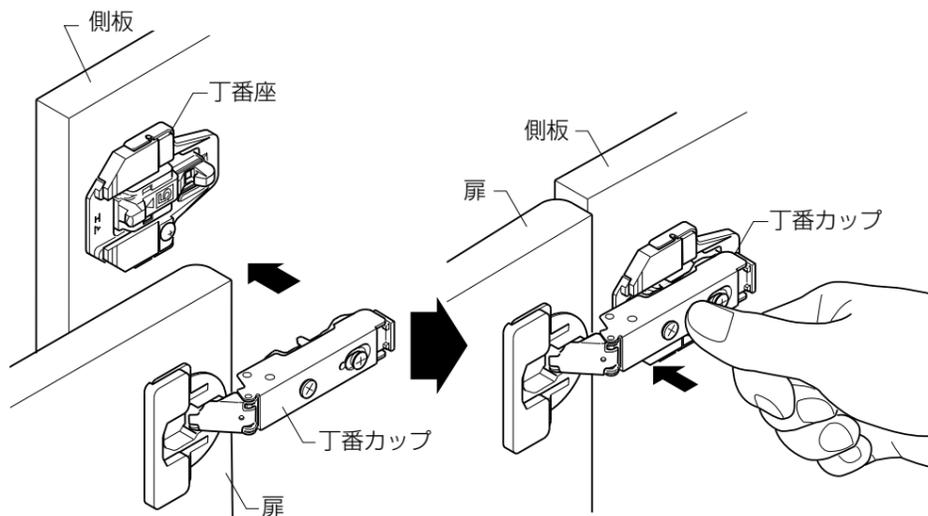


#### ⑤-1. 扉の取付け方

#### ▲ 注意

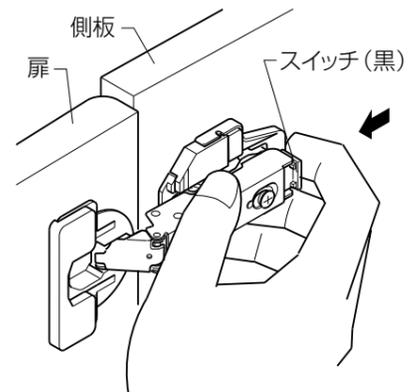
● 扉を本体に取付ける際は、丁番カップが「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。扉の脱落の原因となります。

※ 扉の吊込み後、3回程開閉を行い、丁番カップがきちっと取付いているか必ず確認してください。



#### ⑤-2. 扉の外し方

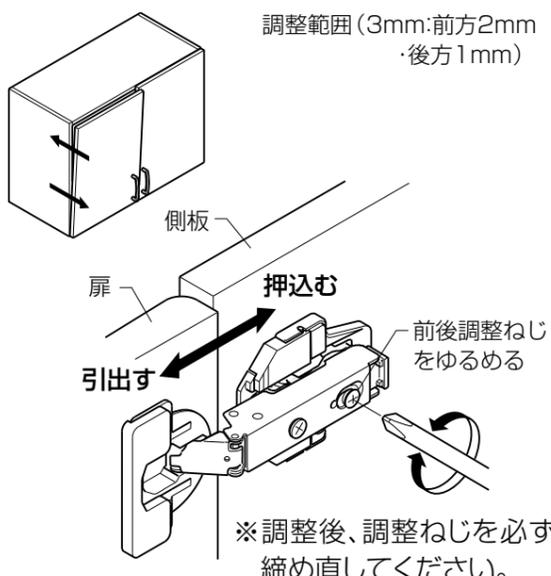
● 扉を外す際は、丁番カップの黒いスイッチを押してください。



## ■ 扉の調整

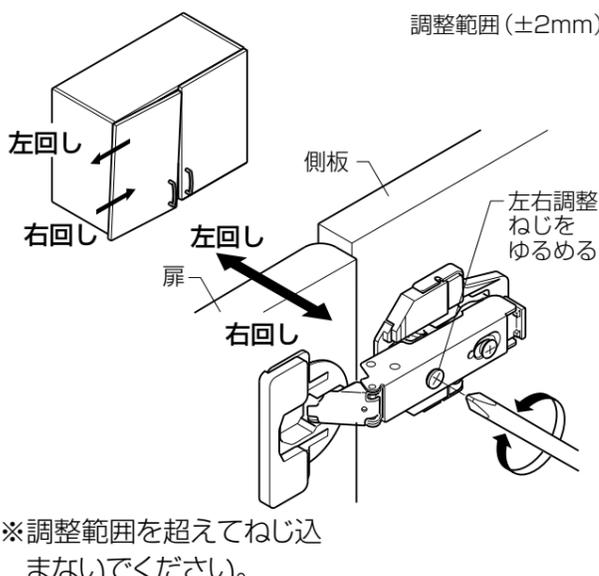
### 前後調整

調整範囲 (3mm: 前方2mm  
・後方1mm)



### 左右調整

調整範囲 (±2mm)



### 上下調整

調整範囲 (±1.5mm)

